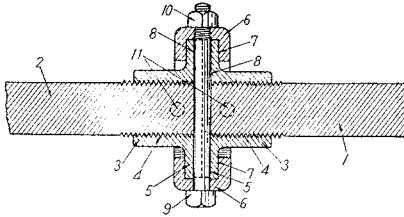


土木建築用鉄筋接合装置

特公 昭 33-10421

発明者 織本道三郎

接合すべき鉄筋 (1), (2) 端にそれぞれツバ (5) つき短管 (3) を互いのツバが接着するようにして螺合し, これらを挟着片 (6) (6) で一体に結着したもので, 短管の管壁には, のぞき孔 (11) を設け鉄筋の挿嵌状況の検視に役立てる。

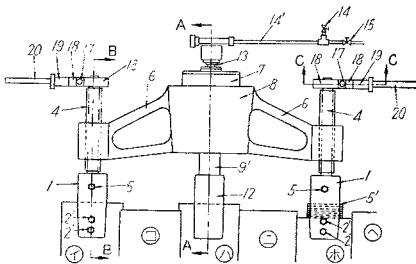


パイルプーラー

特公 昭 33-10427

発明者 相原 勇

シートパイルの引抜装置であつて, フレーム (6) の中央部の機胴 (8) 内に油圧ジャッキのシリンダーが収容され, 機胴底より突出したピストン軸 (9') の下端につかみ (12) が螺着され, またフレームの両端部には螺棒



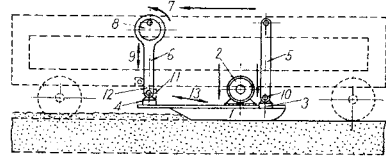
(4) (4) が螺合され, その下端にはニマタの固定シュー (1) (1) が回転自在に装置されている。シリンダーは機胴に球面支持されていて, ピストン軸の下端を目的のパイルに向けやすくしてある。つかみの下部にはアリ溝が穿設され, その中に引抜こうとするパイルを挟持するクサビが挿入されている。固定シューは引抜こうとするパイルと同列のパイルに固定され, これがジャッキ台として利用される。

コンクリート道路築造機械

特公 昭 33-10429

発明者 G.L. ポットケンパー

振動体 (2) を載置した振動厚板 (1) は導子 (5) (6) によつて車体に揺動的に懸吊され, 前方導子には偏心装置 (8) とリンク (12) とが設けられている。偏心装置 (8)



の作動により振動厚板 (1) の前部は矢印 (9) の方向に上下運動すると同時にリンク (12) に導かれて振動厚板全体は矢印 (13) 方向に運動して, コンクリートを前方にしぼりながら圧縮してゆく。本法によるとコンクリート中にふくまれた空気はよく逸出して圧縮効果が良い。

レールまくら木敷設用突固め機

特公 昭 34-203

発明者 宮田三郎

道床砂利を衝撃, 振動等を加えながらまくら木の下へ押し込み, 突固める突固め杆の下部側面にクリーム状のセメントモルタルを流出する送出口を設けたもので, 砂利をまくら木下に押し込むと同時に, クリーム状のセメントモルタルを供給して, 該部の砂利を突固めた状態で結合させるために使用する。

既製のコンクリート杭の支持力増強方法

特公 昭 34-825

発明者 鈴木 隆

コンクリート杭の下端に取付けた円錐状のシューの内部に空室を設け, この中に爆発薬を収容し, これに通ずる導線を配置し, この杭を土中に打込んだら導線に通電して爆発薬を爆発させてシューを破裂して破裂片を形成させ, この状態で杭をさらに打込んで, 前記シューの破裂片を拡張させ土に食い込ませる。

コンクリートブロック巻立によるトンネル構築法

特公 昭 34-830

発明者 伊藤公督

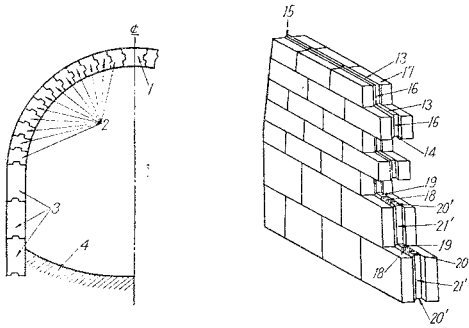
前後左右端面に係合用凸部と凹部を形成した壁用コン

横倒し式水門扉

特公 昭 34-832

発明者 永井安俊・他 2 名

水門扉体 (1) の上端一側にアーム (2) を設けて、これを河岸に構築した架構 (4) の基部かまたは河岸上に軸架 (3) し、一方扉体他側には吊具 (5) を設け、その下方に



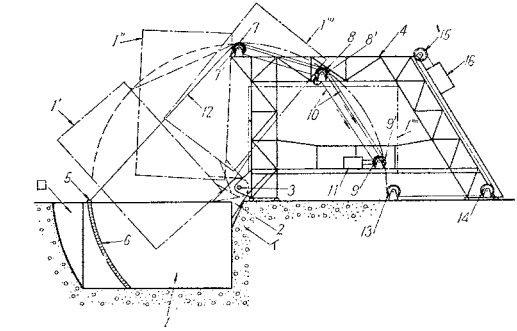
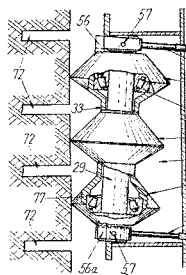
クリートブロック (3)、アーチ部コンクリートブロック (2)、頂部コンクリートブロック (1) を用いて、上層ブロックの目地が下層ブロックの中央にくるようにして巻立て、まづ基本となる覆工部を形成したら、後は仮ワクを用いることなしに逐次前記各種ブロックを横からさしこんで覆工を延長してゆくもので、最初の基本覆工の施工の際は仮ワクが必要であるが、それからは不要である点、ブロックの前後左右に係合部があるので目地モルタルを施さなくても一体的に構築される点、等が特徴である。

鑽孔機用回転カッティング頭部の改良

特公 昭 34-831

発明者 J.S. ロビンズ

トンネル掘削機の頭部カッターに関する発明である。一連の同心の円形切口を切削すべく半径方向に互いに離隔されて配置された切削刃先と、その刃先に随行してこれら切口の間の環状のコアを破碎するように装置された複数のコア破碎ローラーとを備えたもので、各破碎ローラーはいくつかのクサビ状断面の切刃 (74) を有する中空体で構成され、その各切刃は互いに離隔され切口の間の作業面に圧接するよう配置されている。図中 (72) は先行する切削刃先により切削された切口を示す。図においてわかるように、コアは両刃口に向つて破碎されるので掘削効果がよく、またローラーの軸受は中空体内に収容しうるので好都合である。



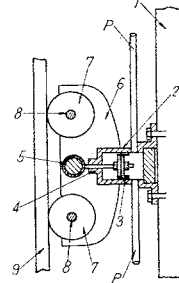
軸 (3) を中心とした弧状のピンラック (6) を配設し、また架構 (4) にはピン歯車 (7), (8), (9) が設けられていて、これに吊鎖 (12) とピンラック (6) が順次歯合せするようになっていて、各ピン歯車を駆動することにより扉体は回動起伏し開閉する。

水門扉のローラーによる昇降装置

特公 昭 34-833

発明者 大島 竹一

扉体 (1) の背面両側部の数カ所に油圧シリンダー (2) を固設し、そのピストン杆 (4) 端に軸 (5) を固着し、これにローラー フレーム (6) を軸架するとともに、各油圧シリンダーは送油管 (P) により相連通させ、またフレームにはローラー (7) (7) を半球凹凸面軸承装置で軸支 (8) (8) した。このようにしたので昇降時に各ローラーは軌道 (9) 面に均等に接転する。



(特許庁審査二部 染谷 広司)

論文集 59号・別冊 (3-2)

正員 工博 奥田 秋夫 著

B 5 判
54ページ

コンクリート舗装の施工合理化に関する研究 定価 250 円 (〒 20 円)

論文集 59号・別冊 (3-3)

正員 田中五郎・正員 西脇威夫・准員 島田静雄 著

B 5 判
16ページ

吊橋用スパイラル・ロープの弾性的性質 定価 80 円 (〒 10 円)

大好評!!

コンクリート辞典

京大名譽教授

工博 近藤泰夫氏編

上製ビニール表紙 B・6 変形判 254ページ

特価サービス 1部 150円 予 30円

コンクリートに関連のある土木、建築その他あらゆる分野の用語をもれなく集成したもので、内容はアイウエオ順に各単語につき簡明な説明が付され最後に英和対訳索引も付録されている。専門技術者はもちろん一般の方々にも座右の書として貴重な知識を提供してくれるであろう。

(全国丸善書店などでも販売中)
〔御一報次第図書目録進呈〕

新刊 コンクリートパンフレット 各号共 A・5 1部 60円 予 10円

58号	} コンクリートの	}	((上) 82 ページ
59号			

(米国における最近の技術と傾向)

間組 技術局 藤田圭一 訳

日本で出版されている参考書にも見当たらないような技術者の盲点ともいえるべきことがらについてくわしく述べられている。

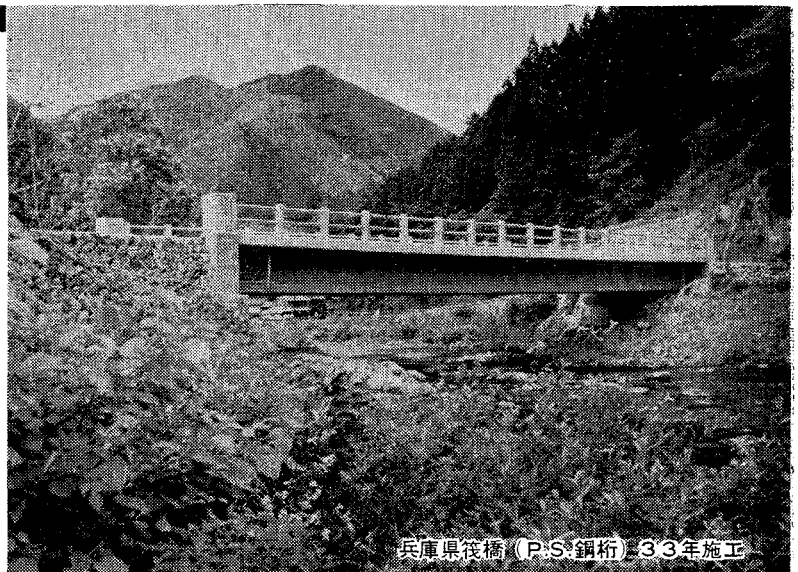
東京都港区赤坂台町1番地

振替東京 196803 電話 (48) 8541 (代)

日本セメント技術協会



橋 鉄 水 水 水 土
鉄 水 水 水 土
梁 塔 骨 車 門 管 築
鉄 鉄 水 水 土
圧 鉄 木 建



兵庫県役橋 (P・S鋼桁) 33年施工

新三菱重工業株式会社

本社原動機部 東京都千代田区丸の内2の14

神戸造船所 神戸市兵庫区和田崎町3